



江東内部河川・運河の活用とコミュニティ強化

主な連携先地域：東京都江東区・中央区、福島県南会津町



対象地域の特徴や課題	<p>本学キャンパスが位置する東京湾岸地域の地域課題である河川や運河の活用やコミュニティ強化をテーマとして、学生が市民やNPO、民間事業者、自治体と協働しながら、課題発見から解決方法の提示まで行い、教育効果を高め、先進的な研究を促進し、更に社会貢献まで同時に実現しようとするものである。江東区では、河川と運河活用からまちづくりの促進を主なテーマとする、またスマートシティ構想が動き出している豊洲や木造密集市街地緊急整備地区の北砂が中心となる。中央区では、すでに開設済みである月島長屋学校と新たに開校する「佃島学校」を拠点としてコミュニティ強化を主なテーマとする。南会津町では過疎化と産業の衰退が著しい中でのコミュニティ強化をテーマとする。</p>	
取り組みの概要や特徴	<p>建築学部建築学科は、都市や地域への課題意識を高めようとしており、また海外大学との国際PBLを継続して実施している。設計演習やゼミナール、国際PBLでは、本活動の対象地域である中央区月島や江東区豊洲といった東京湾岸地域も対象としている。月島長屋学校では、海外協定校留学生の視察受け入れも行っている。本活動では、多くのワークショップや社会実験といった市民との協働作業を実施することによって、学生にとどまらず市民も河川・運河の活用とコミュニティ強化について体験的に学修することになる。また、自治体と連携しながら実施するので、地域に根付いた形で、本学の知の社会還元が確実に促進され、市民意識も確実に向上していく。地下鉄8号線沿線まちづくりや豊洲スマートシティプロジェクトとも連動するため、学生・市民とも、地域志向だけではなくグローバル志向も一段と強化される。</p>	
主なプログラムなど	<p>教育では、「空間地域デザイン演習」では中央区月島を対象として、また「建築学演習・都市地域デザイン」では江東区北砂地区を対象として、それぞれ内部河川・運河の活用とコミュニティ強化をテーマとして取り組み、その成果を市民や自治体に対して発表する。「プロジェクトゼミ」では、江東区や中央区を対象としたテーマを設ける。研究と社会貢献では、豊洲地区運河ルネサンス協議会と連携して、運河の活用を促進するための社会実験「船カフェ」を6月に、同様に「豊洲水彩まつり」を9月に開催する。また「佃島学校」を拠点として、コミュニティ強化を目的として、留学生や外国人などを対象とする視察会を開催する。南会津町の集落再生方法を、「たのせふるさとまつり」に参画して、アクション・リサーチによって検討する。以上の活動によって、中央区や江東区などを対象として5件程度の卒業研究・修士研究が取り組まれる。</p>	
担当研究室名/担当教員	<p>地域デザイン研究室（建築学部建築学科）／志村秀明 建築・環境設計研究室（建築学部建築学科）／原田真宏 空間デザイン研究室（建築学部建築学科）／篠崎道彦 都市プランニング研究室（建築学部建築学科）／桑田 仁 地域計画研究室（建築学部建築学科）／佐藤宏亮 都市デザイン研究室（建築学部建築学科）／前田英寿 交通計画研究室（工学部土木工学科）／岩倉成志 ロボティクスシステムデザイン研究室（デザイン工学部デザイン工学科）／佐々木 毅</p>	
関連サイト	<p>地域デザイン研究室 https://www.sim.arc.shibaura-it.ac.jp/ 月島長屋学校 https://www.tsukishima.arc.shibaura-it.ac.jp/</p>	